



スキマタイムズ

もっとお互いを理解するための場や時間を

✿ 日本自立生活センター自立支援事業所 2023年6月27日発行 第147号

居場所づくり勉強会 第72弾

「ほめること」「ほめられること」を体験してみよう

「褒めること」「褒められること」をそれぞれで体験してみよう。

ある介助者の人と話をしていたら、「この職業って褒められることってあんまりないよねー」「褒めてほしいんだけどなあー」と言っていた。

なるほどなあー。できて当たり前と言われがちな仕事かもしれないなあー…

また別な日に障害当事者の人何人かと「褒めること」「褒められること」について話をしていたら、「褒められる」という言葉に強い拒否感を示す人がいました。「褒められたことなんてないわー」「褒められると、その言葉疑ってしまう。」「褒められると居心地が悪い」そんな言葉が交わされました。

障害者ってそもそも否定的な言葉を聞かされすぎているのかもしれないですね。

今回は「褒めること」「褒められること」を体験してみて、その時のそれぞれの気持ちも出し合えたら、それぞれの深いところまで分かり合えるかも？

(担当：小泉)

7月25日 (火) 14:00 ~ 16:00

JCIL 本体事務所 (南区東九条松田町 28 メゾンガラス京都十条 101)

Zoom

ID: 847 8833 1761

パス: 717113



録画を公開しました！
ぜひご覧ください！

滝山病院問題と 障害のある人たち

らん
座談会

入院患者への凄惨な虐待が報道された
NHK・ETV 特集「死亡退院～精神医療・闇の実態～」の
関係者の方々と、様々な立場からお話いただきました。(5/26 開催)



【JCIL YouTube チャンネル】 <https://www.youtube.com/watch?v=lOfV9EtgQo8>

◆らせん座談会の中心——番組に関わった人々の声

相原啓介さん（弁護士、滝山病院に立ち入り、多くの入院患者の支援に関わってきた）

青山浩平さん（NHK ディレクター、「死亡退院」制作）

持丸彰子さん（NHK ディレクター、「死亡退院」制作）

◆らせん座談会の広がり——それぞれの立場から

障害当事者・支援者などさまざまな立場の人たちから（滝山病院退院支援者、元筋ジス病棟長期入院患者、ピープルファースト京都、他多数）

00 : 00 / 99 : 99



第4回

卓球バレー



7月4日(火) 13:00~16:00

☆スタジアム：多文化交流ネットワークサロン



第4回目の卓球バレーは、前回と同じく多文化交流ネットワークサロンで行います。

卓球バレーをするには十分広いので、みなさん楽しめるとおもいます。

時間は13時から16時。3時間あるので、途中で二、三回の休憩を入れます。また、好きな時間に来て、無理せず好きな時間に帰ってもらって結構です。

みなさんのご参加お待ちしております!!



こえかけで熱中症予防!

特に、高齢者、子ども、持病のある方、障害のある方は熱中症になりやすいので十分に注意し、積極的に声をかけましょう。



Point
01



まめな
水分補給

Point
02



アコンを
活用しよう

Point
03



いてきな
環境づくり

Point
04



んこう管理を
しっかりと

こ まめな 水分補給

- のどが渇く前に水分補給を。塩分補給も忘れずに!
- 運動時、起床時、入浴後などは、いつも以上に意識して水分補給をする
- 運動や屋外での労働など、大量に汗をかいた時は水分補給と合わせて塩分補給も忘れずに!

え アコンを 活用しよう

- 熱中症の約5割は屋内で発生!
- エアコン使用中も、こまめに換気する

か いてきな 環境づくり

- 室温は28°Cを目安に調整する
- 気温や湿度の高い日は特に注意する

け んこう管理を しっかりと

- きちんと食事し、適度な運動で暑さに負けない体をつくる
- しっかりと睡眠をとり、体調の悪い時は、無理せず休養する

上記内容について
お問い合わせ先

京都市保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 健康長寿企画課
TEL: 075-222-3419 FAX: 075-222-3416

発行: 京都市保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 健康長寿企画課 京都市印刷物 第052058号 令和5年5月発行



京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。健康長寿のまち・京都

ワークス共同作業所

Art Festa アートフェスタ 2023



作品募集中!

募集期間：6月1日～8月15日

今年のテーマは

「自由・freedom(フリーダム)」

今年のテーマ
について

今回は、「あなたが自由になれる～時(トキ)、物(モノ)、場所(バシヨ)～」です。私たちは、コロナ等により、様々な形で、自粛と制約を余儀なくされてきました。そんな環境が収束を迎えつつある今、あなたが自由になれる瞬間や物(アイテム)、場所等を表現してみてください。みなさまのご応募をお待ちしております。

アートフェスタとは・・・

障がいのある人が地域や施設で生活していく中で自分を表現する手段としての芸術、工芸の作品展。また障害のある人の周りに居て色々な事を一緒に考えて行動する人たちも作品を作って考えて欲しい作品展です。

日 時：2023年8月24日(木)～9月6日(水)午前10時～午後4時(最終日は午後3時まで)

場 所：京都市地域・多文化交流ネットワークサロン(会場展示)

内 容：障害者及びその友人、知人等の芸術文化工芸作品

募集内容：絵画、陶芸、写真、書、彫刻、その他工芸作品、及び作品の写真をメールで応募も受け付けます。

応募資格：障害のある個人、又はグループとその関係者

応募方法：応募方法：別紙申込用紙にご記入の上メールまたはFAX でお願ひします

(詳しくはこちら http://www.kyoto-j-works.com/art_festa2023_info.html)

募集期間：6月1日～8月15日

主 催：特定非営利活動法人日本自立生活センター ワークス共同作業所

協 力：京都市地域・多文化交流ネットワークサロン

連絡先：ワークス共同作業所 TEL：075-682-3201 FAX：075-682-3330

E-mail：info@kyoto-j-works.com

